

財団法人 8020 推進財団 平成26年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1. 事業名	: 子どもの口腔の健康から 健康な地域づくりⅢ
2. 申請者名	: 公益財団法人ライオン歯科衛生研究所 藤重貞慶
3. 実施組織	: 公益財団法人ライオン歯科衛生研究所 八重山地区歯科医師会 石垣市教育委員会 八重山地区養護教諭研究会
4. 事業概要	<p>沖縄県石垣市で、健康や生活習慣に関わる地域の状況や課題にあわせて「小学生を中心とした子どもの歯と口の健康づくり」の取り組みを推進し、口腔の健康に対する学校・家庭の意識の向上をはかり、健康な地域づくりにつなげることを目的に、2012年より貴財団の助成を受け事業を展開してきた。</p> <p>2012年度は「学校での歯科保健の取り組みについての現状把握」ならびに、養護教諭に対する「情報と教材の提供」を行ってきた。さらに、2013年度には、子ども（小・中学生）の「自宅等での生活習慣およびその保護者についての現状の把握と課題の抽出」を目的に質問紙調査を実施し、それらを地域関係者（学校歯科医、養護教諭、教育委員会等）で共有化した。</p> <p>そこで今年度は、子ども達の課題について解決方法を具体的に策定し、実施することに重点をおき、本事業を継続推進することとした。</p>
5. 事業の内容:	<p>沖縄県石垣市で、「小学生を中心とした子どもの歯と口の健康づくり」の取り組みを推進し、活動を通して、口腔の健康に対する学校・家庭の意識の向上をはかり、健康な地域づくりにつなげることを目的に事業を展開することとした。今年度は、子ども達の課題について、解決方法を具体的に策定し、実施することに重点をおき、以下の通り事業を推進した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小・中学生用に『新 わたしの健康チェック』を作成し、石垣市の全小学生・中学生に対して、第1回目は2014年7月、第2回目を2015年3月の2回実施した。第1回目の回収集計結果から、食事の際の甘い飲み物摂取については、週3～5日摂取しているとした者は全体で21.8%、週6・7日では10.2%であり、学年差は認められなかった。また「よくかんで食べている」ことについては、学年別では、「よくかんでいる」が小学1年では76%であったのが、中学3年では45.2%と、学年が上がるにしたがって「よくかんでいる」小・中学生が減少していた。 2. 石垣の子ども達に歯と口の健康を中心の小・中学生向けの「健口8か条：『すてきなはとくち』」を作成した。また子どもの健口8か条を当たり前にする環境を整えるために、保護者に向けて「健口8か条：『わが子のしあわせ』」を作成し、学校を通じて普及・啓発をおこなった。 3. 現在あるう蝕については「治療する」「歯科医院に行く」ことを働きかけるために、「歯の治療強化期間」を設定した。期間は、学校の夏季休暇・冬季休暇とし、ポスターを作製し小・中学生を通じて家庭、地域にある保健センター、歯科医院などの場所においてポスターを掲示し周知する取り組みを行なった。 4. 石垣の子ども達の歯と口の状況やこれまで行なってきた取り組みについて地域の人々に広く知ってもらうために、「もうすぐ1年生、園児と父母の集い」や八重山毎日新聞の子ども向け紙面「週刊やっぴい」を活用し「健口8か条」などを広める取り組みを行なった。 <p>今後は、小・中学生に実施した「新 わたしの健康チェック」の1回目と2回目を解析し、そこから改善できた項目、改善できていない項目の抽出を行い、それに合せた手立てを検討し、学校・保護者と共に取り組みを強化していく。また、2012年から3年間で取り組んだことを振り返り、今後の推進体制を検討していくこととした。</p>
6. 今後の課題:	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校での取り組みを強化するために、学校運営の要となる学校長との連携 2. 保護者との連携の強化